



2024年6月19日

各位

会社名 株式会社トライアイズ
代表者 代表取締役社長 東郷 薫
(コード 4840 東証グロース)
問合せ先 管理部 I R G 課長 高橋 圭紀
電 話 0 3 (3 2 2 1) 0 2 1 1

第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年2月14日に公表いたしました2024年12月期第2四半期累計期間(2024年1月1日~2024年6月30日)及び2024年12月期通期(2024年1月1日~2024年12月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 2024年12月期第2四半期業績予想の修正(2024年1月1日~2024年6月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	387	△31	111	72	9円30銭
今回修正予想(B)	402	4	230	148	19円03銭
増減額(B-A)	14	35	118	118	—
増減率(%)	3.7	—	106.3	104.7	—
(参考)前期第2四半期実績 (2023年12月期第2四半期)	372	24	221	156	19円41銭

2. 2024年12月期通期業績予想の修正(2024年1月1日~2024年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,895	86	261	184	23円65銭
今回修正予想(B)	942	△60	183	128	16円46銭
増減額(B-A)	△952	△146	△77	△56	—
増減率(%)	△50.2	—	△29.8	△30.3	—
(参考)前期実績 (2023年12月期通期)	636	△8	227	102	13円10銭

3. 修正の理由

①2024年12月期第2四半期業績予想の修正について

売上高は概ね当初の想定どおり推移する見込みとなったほか、建設コンサルタント事業において採算性の高い案件を効率的に実行したことで、原価率が当初の想定を下回る見込みとなったことから、営業損失から一転して営業利益を計上することが見込まれます。

また、2024年4月15日公表の「海外子会社の減資による為替差益の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は当社の海外子会社の有償減資を実施いたしました。その結果海外子会社への出資時と有償減資時に適用した為替レートの差異による為替差益179百万円が予測を上回り、営業外利益が当初の想定を上回る見込みとなりました。これらの要因により2024年12月期第2四半期において営業利益の計上並びに経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が前回の予想数値を上回ることが見込まれるため、予想

数値を修正することといたしました。

②2024年12月期通期業績予想の修正について

投資事業において、沖縄リゾート開発プロジェクト案件の進捗が当初の予定より遅延していることに伴い、当初2024年12月期第4四半期に売上高の計上を見込んでいた同プロジェクトの売上高の一部が2025年12月期（具体的には2025年12月期第2四半期以降）に計上する見込みとなりました。これにより、投資事業の売上高が1,273百万円から415百万円と当初の予測を大幅に下回る見込みとなりました。

投資事業売上高の減少により、営業利益も当初の予測を下回ることが見込まれるほか、①に記載の海外子会社の有償減に伴う資為替差益の影響を加味しても、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益も当初の予測を下回ることが見込まれます。

以上より、2024年12月期通期の売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益いずれも前回の予測数値を下回ることが見込まれるため、予想数値を修正することといたしました。

以上